

県横須賀 必死に

藤嶺藤沢12-7 県横須賀

「主将永野智は悔し涙をこらえながらスタンド練習を積み重ねてきた。試合前のミーティングでナイ

強豪私学を相手に県横須賀ナインは必死に食らいついた。「満身創痍でも自分の成長した姿を見せろ

新チーム結成後の昨秋も今春も県大会には進めず、

「勝てない相手じゃない。相手を上に見ず、フラットに見よう」と誓い合っ

成長した姿見せた



【県横須賀―藤嶺藤沢】6回県横須賀2死三塁、永野真が左越えに同点の2ランを放つ
藤沢八部(知念 駿大写真)

た。

初回いきなり藤嶺藤沢の1番五島に本塁打を食らったのが「自分たちもやっ

てやろうと、むしろ打線に火がついた」と石井洋監督

(57)。三回に布施、永野真の連続適時打で逆転する

と、再びリードされた六回も下位打線からの3連打で

2点を返して反撃を開始。

2死三塁の好機に再び打順が巡った永野真が「三振

でもいいからしっかり長打を狙おう」と内角直球を捉

えた打球は海風に乗ってフェンスを越えて同点の走者

を返した。

大番狂わせの予感にスタンドも沸き上がったが、現

実は厳しい。九回にエース菅野が4失点を喫し、突き

放された。それでも最後の夏に未練はない。菅野は「秋

も春も勝ち切れなかったチームが、ここまでやり切る

ことができた」と胸を張った。

(深沢 剛)

公立校 私学撃破まであと一步